



B000000M4F5SBD4V

機番：カラー2
端末：T-TKUM217
エラー：

時刻：2021/07/06 15:35:59
縮率：

◆ 79.0倍×88.5倍

種目：
ラベル：

ジャンル：

全日本ソフトテニス70歳以上

第2回全日本ミックスダブルソフトテニス選手権大会が6月19日と20日、愛媛県総合運動公園テニスコートほかで行われた。一般の部のほかに、35歳以上をはじめ、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳以上と合計7カテゴリーで熱戦が繰り広げられた。

70歳以上の部では、近藤清（73＝西那須野クラブ）横野久美子（77＝すみれクラブ）が、決勝で杉山泰久・中谷順子（ともに所沢ペアートテニスクラブ）に敗れ、準優勝となった。

実は、近藤と横野は全日本シニアで2連覇していた強豪ペア。しかも横野は愛知県ソフトテニス連盟の副

近藤・横野組3連覇逃す



70歳以上準優勝の左から横野、近藤

会長。近藤は、ソフトテニスの握り方のまま硬式テニスもプレーして、

シニアの大会で全日本チャンピオンになる腕前。長年全国大会の常連で、住まいは栃木と愛知ながら、ダブルスを組んできた。東京・日野から応援に駆けつけた友人の加藤さんは「近藤さんは大谷君よりも前から二刀流なんだよ。時代を先取りしているんです」と、たたえる。

近藤は「若い頃は弱かったな。50過ぎからですね。子育てから手が離れて、50歳過ぎから練習できるところになった。来年は愛媛ではなく、福島で大会がある予定。近いからね、来年も頑張るよ」と、チャンピオン奪回に意欲をみせた。

ニッカンよ4み3ご5ろ6情報 0120-81-4356

日体大荏原 全員出場で6年ぶりV狙う

マスターズ甲子園 東京大会出場校⑩

日体大荏原 6年ぶり3度目の東京大会優勝を目指す。OBチーム設立1年目の2013年大会でいきなり優勝し、翌14年にはマスターズ甲子園本大会に出場。15年も東京大会を制し、母校やOB会も大いに盛り上がった。16年以降は予選リーグの壁に阻まれてきたが、増田義昭監督（62）のもとに集う、メンバー50人は「全員が試合に出場し、幅広い年代の交流に取り組み、優勝する」と意気込む。



コロナ禍の影響により、全体練習や現役野球部員の支援など十分な活動ができない状況だが、31日の大会開幕に向けて各自でトレーニングに励んでいる。前回大会までと異なり、今年一発勝負のトーナメント戦で行われるだけに、8月1日

の麻布との初戦で勢いに乗る白星を挙げたいところ。76年夏の甲子園メンバーだった増田監督と小菅清、元プロ野球日ハム投手の長瀬正弘らが中心となってチームをけん引する。1907年（明40）創部の日体大荏原野球部は、春・夏

通算3度の甲子園出場を誇り、68年の明治神宮大会で全国制覇した伝統校。現役、OBともにまだ成し遂げていない甲子園初勝利への夢も引き継がれている。6年ぶりの東京王座奪還、その先の聖地へ。飽くなき挑戦が今年も幕を開ける。